

わが町のここが聞きたい

マイナンバーカード

マイナカード

取得者は
保険証の登録者数は

『交付枚数6344枚
国民健康保険は
1430人』

問 工藤議員

令和6年12月2日から現行の保険証は新規発行されなくなる。そこで、今月現在のマイナンバーカードの取得者及び保険証紐付け登録者数と深浦診療所での利用度は、

答 町長

直近で10月末時点における再交付及び更新を含むマイナンバーカードの交付枚数は、6344枚、交付率は90・1パーセント。交付枚数から、死亡や有効期限切れなどで失効したカードを除いた保有枚数は、5743枚、保有率は81・6パーセント。マイナ保険証の登録者数は、当町で把握している国民健康保険と後期高齢者医療保険で、直近、令和6年9月時点の国民健康保険は1430人、75・7パーセント、後期高齢者医



療保険は1639人、75・5パーセントの方が、それぞれマイナ保険証に登録済みとなっている。

深浦診療所での利用度は、直近、令和6年9月時点の外来レセプト件数は1034件で、そのうちマイナ保険証の利用件数は137件、利用率13・2パーセント。

側溝整備

側溝調査の実施は
今後の改良の計画は

『調査は行っていない
発生状況を見極め
計画的に』

問 工藤議員

近年の大雨で、側溝の排水・流水処理の対応ができず、床下浸水や冠水が見受けられ、騒いでいる所もある。このような箇所の側溝は、幅が狭く、底が浅いものが多く使われている。少しずつ改良工事を行っているが、町内全体の側溝調査を実施しているのか。実施しているのであれば調査結果、今後の計画は。



答 町長

道路整備等に伴う側溝規格の選定は、各種指針等に規定する基準に沿って、雨水排出量と排水能力を計算して最適な規格の側溝を採用していることから、側溝整備時点では十分な排水能力を有する側溝を設置しているとの考えから、改めて、町内全体の側溝調査は行っていない。しかし、近年の豪雨により発生した、床下浸水や冠水被害が特殊要因により突発的に発生したのか、または頻繁に発生する可能性があるのかを見極めながら、計画的に側溝の改良工事を進めていく。



▲令和4年8月豪雨による床上浸水（北金ヶ沢地区）

スマートフォンなどで手軽に定例会がご覧になれます

スマートフォンやタブレットのアプリ等を使い議会だよりに掲載しているQRコードを読み取ると、定例会等の録画映像が簡単に視聴できます。ぜひ、ご利用とチャンネル登録をお願いします。



YouTube
「深浦町議会チャンネル」

町の将来構想

問

どんな町にしたかったか
次の町長に継続してほしいのは

つぶやき

答弁が的確で、町民も理解できて良かったと思う

答

なかなか計画通りいかない
省くことをしないと
いずれそのツケが回ってくる
次の町長へ相当宿題は残していく



質問者の動画が視聴できます。

く どう ひろ とし
工藤 博利 議員



問 工藤議員

①吉田町長は、どんな町づくりを望んでいたのか。また、どんな町にしたかったのか。
②次の町長に継続してほしいイベントや事業は。

答 町長

①②私は、合併後のどさくさで、良いも悪いも全く手探りの状況の中で、町長として踏み出した構想については、深浦町長期計画がある。西崎前町長は、過疎計画や長期計画をきつちりと踏まえた町づくりを唱えていたけれど、当初の合併の中にあつては、なかなか計画通りいかないとはいいつつやってきました。あれも課題、これも課題、ああしようこつしよう、そして地域の要望にも応えて、適時その方々と話し合いながら歩んできました。

来年、岩崎村と合併して20年になる。この20年を振り返ったときに、私は多くの方々に支えられて、16年間やらせていただいたことについては本当に感謝しかない。百朝集という本の中から、最近、政治というものはこつこつとだと学んだ。

“絶えず問題を省みると共に省いて、手にも心にも余裕を



▲深浦海まつり開会式 当時議長の吉田満町長(左) 西崎哲前町長(右) (平成18年8月14日)

存することが必要である。政治とは「省治^{せいせい}」である。役所を「省^{せい}」と称することは誠に深い意味がある。然るに役人政治家ともなれば、功名心に駆られ、人気を博そうとするから、どうしても何か目新しいことを行つてみたい。整理とか償却とか節約とかいうようなことは、とんと行い榮えが無い。そこで「一害を除く」ことはなかなか行らない。その中に積弊^{せきへい}(長年積もった悪弊^{あくへい})が手の着けようもないほどになってしまう。これが革命を誘発するのである。” (原文:「百朝集」四四 一利一害)



▲退任の挨拶後の吉田町長 (令和6年12月20日)

※1悪弊(あくへい)：悪い習わし
※2一利一害：興一利不若徐一害(一利を興すは一害を除くにしかず。)
生一事不若滅一事(一事を生やすは一事をへらすにしかず。)
(蒙古) 耶律楚材^{やうりつそさい}の名言

町のトップは、いかに謙虚で、そして、ある意味する賢くやらないと難しいと言っている。そして省くことをしないトップには、いずれそのツケが回ってくることを覚悟しなければならぬ。そのことが町民にとって決して幸せなことではない。そのことを言いたい。
真つ新たな白い紙に構想計画を書くのではない。私は、次の町長に相当宿題は残していく。